

平成 26 年 2 月 11 日

松阪市議会  
議長 中島清晴 様

報告者：深田 龍

## 視察報告書

この度、下記の通り行政視察及び研修を実施致しましたので、その内容等についてご報告致します。

|              |   |
|--------------|---|
| 日程：          | 平成 26 年 2 月 3 日(月)～4 日(火)の 2 日間   |
| 視察先：         | ①1 日目：朝来市役所 〒669-5201 兵庫県朝来市和田山町和田山 372-1<br>②2 日目：舞鶴市役所 〒625-8555 京都府舞鶴市字北吸 1044   |
| 視察・研修<br>項目： | ①-I：竹田城を生かしたまちづくりについて<br>-II：朝来市の住民自治協議会について<br>14 時 00 分～16 時 30 分<br>②京都舞鶴港を利用した産業について<br>13 時 00 分～15 時 00 分                     |
| ご説明者：        | ①-I 産業経済部竹田城課 課長/藤岡勇様 主幹/桐山俊行様 副主幹/小谷康人様<br>①-II 市長公室 室長/政次悟様 課長/木村吉宏様 副主幹/馬袋真紀様<br>② 産業振興部観光まちづくり室みなと振興・国際交流課 課長/新宮敦雄様<br>主幹/中井哲也様 |
| 参加者：         | 【青凜会】野口正、濱口高志、沖和哉、【無会派】深田龍 計 4 名  |

### ①-I：竹田城を生かしたまちづくりについて

#### 1. 朝来市の概要

平成 17 年 4 月に生野町・和田山町・山東町・朝来町の 4 町が合併し、朝来市が誕生。

面積：402.98 km<sup>2</sup>、人口：33,213 人（平成 25 年 2 月末時点）

高齢化率：30.0%（松阪市：22.2%）

「最重要課題は人口減少」

朝来市の人口が 2055 年には 2 万人を切り、19,113 人となる推計を平成 20 年に兵庫県が発表した。

地方分権改革に向けた流れの中で、地方自治体の自己責任・自己決定に基づく市政運営を図るべく「地域自治協議会」を平成 19 年・20 年に発足。

「天空の城・竹田城」が人気となり、全国から人が集まる観光産業が注目されている。

#### 2. 目的

全国的に有名になり観光客の足が絶えない観光スポット「竹田城」をいかにして作り上げたのか。

そのための取り組みを行政として、また地域とどのようなされているのか。また、地域自治協議会を発足し約 6 年が経過する朝来市での状況を調査すべく視察に伺った。

### 3. 竹田城への入込者数の現状とそれを取り巻く環境について

#### ・入込客数の推移

| 年度         | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 |
|------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 人数         | 35,000   | 52,000   | 98,602   | 237,638  | 433,933  |
| 前年度からの増加倍率 |          | 1.49 倍   | 1.9 倍    | 2.41 倍   | 1.83 倍   |

上記の表の通り、平成 22 年から年々、入込客数が増加傾向にある。  
市役所職員によると、東海や九州地域から来る方が多いとのこと。

質疑 1：なぜこんなに人が来るようになったのか？

応答：市からなにか働きかけたということではなく、平成 18 年に日本全国 100 名城の一つに選定されてから徐々にその兆しが見えてきた。また、CM や映画・ドラマの撮影で脚光を浴び、火がついたと推測する。市としては、一般の方から写真の無償提供を受けて市のホームページで竹田城の写真を無料ダウンロードできるようにしている。

質疑 2：竹田城を中心とした観光産業による経済効果は？

応答：桜が綺麗な春の時期で約 7 億 8,000 万円。雲海の出現率が高い秋だともう少し高いが、未だ算出できていない。

#### ・街なみ環境整備事業 予算約 8 億円

平成 17 年～27 年まで竹田城から見下ろせる竹田駅周辺地域の景観を整備していく事業で、具体的には道路や公園の整備を行っている。

例 1) 道路を石畳のものに改修

例 2) コンクリートの壁を石積みものに改修

その進め方として、行政が主導で行うのではなく 10 の行政区からの代表者と公募で 5 名を募集し「まちづくり推進協議会」を立ち上げ、官・民が協働してまちづくりが行われている。

#### ・景観（修景）助成

平成 10 年から助成を開始し、約 50 件が助成金を活用した。

助成金内容：掛かった経費の 3 分の 2 を助成で最大 200 万円

例) 家の壁を白く塗りなおす、瓦の張替え等

質疑 3：施工業者は市内に限定しているのか？

応答：特に市内限定しているわけではない。

#### ・今後の計画

○ “トイレがない、少ない” の要望から、トイレの新設・増設を予定

○ 入込客の 9 割が車であるため、道路の混雑が問題となっている。このことから、シャトルバス（最大 5 台）で、対応することを予定している。（駐車場は最寄りの第一・第二駐車場で 70 台、少し離れた山城の里で 150 台）

○ 竹田城内の整地

## ①-Ⅱ 朝来市の地域自治協議会について

### 1. 地域自治協議会設置までの経緯

人口減少により、空き家が増加し区単位の自治会運営が困難になってきていた。

また、自治会が機能している地域でも女性や若者の意見が反映されないという課題があったため平成 17 年から新しい仕組みづくりを検討することを始めた。

既存にある自治会・個人・企業・各種団体等と相互補助しながら自立したまちづくりを行うことを基本  
理  
念に平成 19 年から 20 年にかけて地域自治システムが確立された。

### 2. 主な取組み内容

地域自治包括交付金を平成 25 年度現在は主に 4 つの事業・運営費に割り当てられている。

「地域づくり支援事業」「区コミュニティ助成事業・地域づくり補助業等」「事務局運営費」「地域共同  
事業」の 4 つである。主な活動事例は、通学生徒の見守り活動、安全・安心マップの作成、防犯灯の設  
置

と維持管理、ふれあい喫茶等である。

また、提案公募型のものもあり、具体的には葬儀場の改修や市民農園の整備等がこれにあたる。

平成 21 年 4 月から施工された朝来市自治基本条例により、住民には安心したまちづくりを保障する制度的  
的支援も行われていた。

松阪市では論点となっている市民の定義や住民投票について朝来市議会では論議された経緯はなかった。  
住民投票については、投票権を案件毎に別途定めるようにしている。

## 所感

幻想的な雰囲気にも包まれた「竹田城」。現地へ 6 時頃に向かうと「山城の里」というサービスステーショ  
ンにはすでに自動車が停車していた。夜通し他方から来られて、少し仮眠をとって早朝の竹田城を見る  
ために備えていた方や我々より早く来た方々のだと推測する。竹田城最寄りの駐車場は立入り禁止時期  
のため、その山城の里から歩いて 30 分ほどかけて竹田城に到着した。

道中には真新しいガードレールやロープが目についた。

メディアの報道でもある通り、現場での事故が相次いだため、危険個所にはロープによる仕切りが見受  
けられた。到着すると 20～30 名の人がいて、時間の経過と共にどんどん人が増えていった。その誰もが  
若い世代であったことに驚きを覚えた。カップル・女性のグループ・男性のグループ・朝靄の中で写  
真を撮影し、一通り回ると帰って行く。

この現地視察の中で、いくつかの課題に気が付いた。

○人が最も多くなる朝の時間帯にサービスステーションが開いていない

(道中の出店や城下の商店も開いてない、一方で少し離れたコンビニや道の駅は大繁盛だとのこと)

○危険個所を注意するロープが多すぎるため、景観を損なっていた

○竹田城への山を登る道中、新設された柵もあったが、まだまだ整備すべき個所があった

○竹田城の石垣の石こぼれが目立ち、足場を悪くしていた

○天気の悪い日だったため、滑りやすい場所や階段があった



石垣の崩れ



真新しい柵



工事のため入れない場所も

まとめとして、竹田城の人气が急激に上がり、竹田町を中心とした朝来市への入込客、特に若い世代は増えたが、来る人に対するサービスの充実度には改善の余地があると感じた。観光資源を生かし、一過性ではなくまた来たいと思ってもらえる仕組み作りや、人から人への口コミから朝来市へ新たに來ってもらうためにはサービスを向上させ、一人ひとりに対する満足度を高める事がブームで終わらせないための施策ではないだろうか。観光資源とサービスを含めた周囲環境を相互的に充実させることは重要だと考える。

また、観光者としては足場が悪いことや危険箇所が多いことは人によって良くないように映るが、一方で歴史的建造物として、それに趣を感じる人もいるのではないだろうか。歴史的価値を高める施策と観光資源として入込客により安全・安心に観光してもらうための施策は別と考え、時にその2つが相反する場合もあるかもしれないが、この境界線は慎重に判断する必要があると考える。



↑自動車は多く停車しているが、開いていない「山城の里」

## ②舞鶴市港を生かしたまちづくりについて

### 1. 舞鶴市の概要

京都府の北東部を占め、舞鶴港は波静かな天然の良港を形成している。

人口：85,955人（平成26年1月1日現在） 高齢化率：26.2%（平成22年時点）

平成23年度から「東アジアに躍動する国際港湾・交流都市」として、都市像を掲げられ、平成23年11月に日本海側拠点港に選定されてから中国・韓国・ロシアと経済交流、観光振興に積極的に取り組まれる。また、昭和20年から13年間「引揚港」として旧ソ連や旧満州から日本軍人、軍属等の遺骨が引き揚げられたことから、現在ユネスコ世界記憶遺産に認定申請をしている。



### 2. 舞鶴と東アジアを結ぶ既存航路

#### ○韓国（釜山）との定期航路

平成25年5月末から週2便化。世界各地との貿易の利便性を高める。

#### ○中国（大連・青島・上海）との定期航路

多くの京都企業が進出しているため、企業の物流に貢献している。

#### ○ロシア（ナホトカ・ウラジオストク）との航路

中古自動車をメインに月2~3回で輸送が行われている。



### 3. 日本海側拠点港選定を踏まえた取組み

○国際フェリー・国際 RORO 船

中国航路及び韓国航路の開設により、週 5 便の就航を目指す

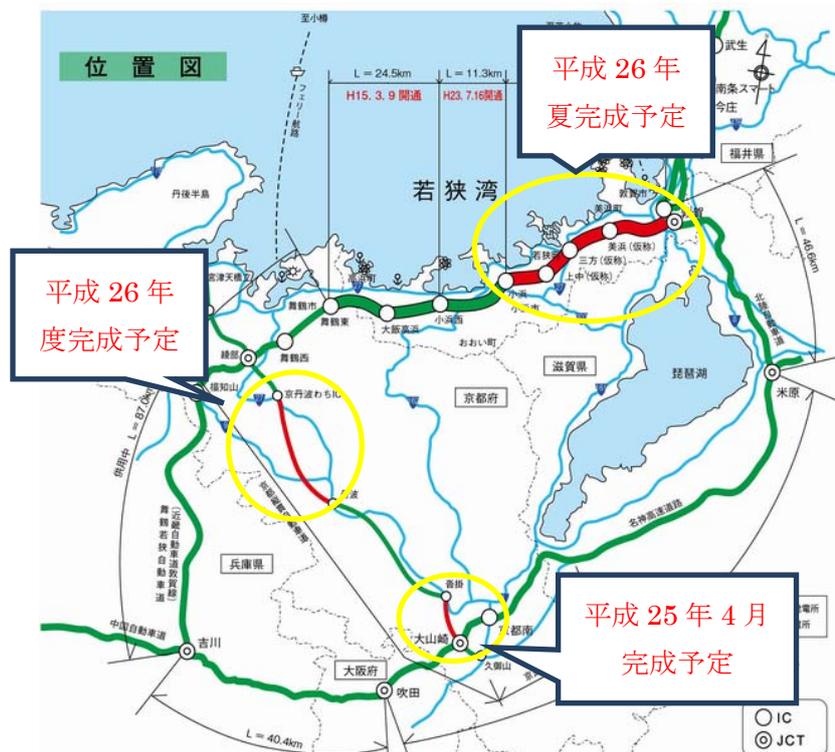
○国際海上コンテナ

中国航路及び韓国航路の増便とロシア定期航路の活性化により週 7 便の就航を目指す

○外航クルーズ

年間 14 回程度の寄港を目指す

↓国内外から来た人の流れを活性させるため、且つ利便性を高めるため、高速道路の整備も進む



質疑 1：韓国・中国との国際関係がよくない状況だが、観光に影響はないか？

応答：韓国は国際関係の影響はない。中国は一時貨物が止まることもある。

質疑 2：国内外から観光で来られる方に対し、どのように京都の情報発信をしているのか？

応答：市役所から船会社をお願いして船内放送をして頂いたり、下船されたタイミングでパンフレットを配布したり、クルーズスタッフを派遣することもある。

### 4. 所感

クルーズ船が寄港していくと日本人観光客の場合で 2,000~3,000 万円/1 泊 (1,200~1,300 人の乗船数) の経済効果があるという。外国人観光客の場合なら 5,000 万円に上ることもあるという。

また、クルーズ船を運営する船会社はクルーズプランを考える上で、寄港できる港を探しているというお話もあったため、松阪市が船会社に提案すれば松阪港を入口として伊勢・志摩や三重北勢部への観光産業が広がる可能性を感じる事ができた。